

Buddy Buddy

ウエストポーチタイプ

WAIST POUCH type

しっかり抱っこ前向き

しっかり抱っこ対面

ちょっと抱っこ

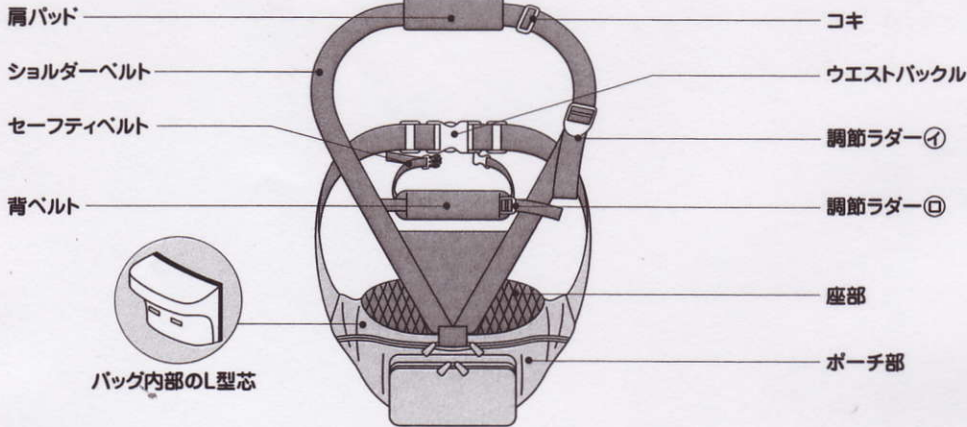
取扱説明書

ご使用になる前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、取扱説明書は必ず保管してください。
本品を他の方にお譲りになるときには、必ず取扱説明書もあわせてお渡してください。

生産物賠償責任保険付

材料・部材は十分に選別しておりますが、主なる素材が繊維であるため、使用頻度にもよりますが、お使い始めてから約3年を耐用年数とお考えください。

●各部の名称



ご使用方法 ※説明図は全て右側抱っこの図です。

しっかり抱っこ(前向き)の場合

使用月齢 5か月頃(おすわりできる頃)から
1才半頃(体重13kg)までの起きている時



① からだにつける
抱っこする側にポーチ部をあて、ウエストバックルが背中中央にくるようにウエストベルトを調節しとめます。

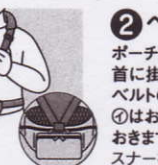


② ベルトを出す
ポーチ内部からショルダーベルトを引き出し、首に掛け、ファスナーを閉めます。ショルダーベルトの長さをコキで調節します。調節ラダー①はお子さまを乗せやすくするために長くしておきます。図のようにベルトをさきまうようにファスナーを閉めてください。

1・2の使用法は「前向き」「対面」共通となります。

しっかり抱っこ(対面)の場合

使用月齢 5か月頃(おすわりできる頃)から
4才頃(体重17kg)まで



③ お子さまを乗せる
安全な場所で、腰をひくした姿勢でショルダーベルトがお子さまの脇下にくるように座部に前向きに乗せます。



③ お子さまを乗せる
安全な場所で、腰をひくした姿勢でショルダーベルトがお子さまの脇下にくるように座部に前向きに乗せます。



③ お子さまを乗せる
安全な場所で、腰をひくした姿勢でショルダーベルトがお子さまの脇下にくるように座部に前向きに乗せます。



④ セーフティベルトをとめる
セーフティベルトの長さをお子さまに合わせて調節し、バックルをとめます。腰をひくした姿勢で行ってください。



④ セーフティベルトをとめる
セーフティベルトの長さをお子さまに合わせて調節し、バックルをとめます。腰をひくした姿勢で行ってください。



⑤ 腕を出す
右腕をショルダーベルトから抜き出します。腰をひくした姿勢で行ってください。



⑤ 腕を出す
右腕をショルダーベルトから抜き出します。腰をひくした姿勢で行ってください。



⑥ ベルトを調節する
調節ラダー①で座面が水平になるように調節、調節ラダー②で、お子さまの上半体が座部に対し、直角になるように背ベルトの長さを調節します。安全のために必ず手で支えながらご使用ください。調節ラダー②を締めすぎて、お子さまの胸を圧迫したり、また、ゆるすぎますと不安定になりますのでご注意ください。



⑥ ベルトを調節する
調節ラダー①で座面が水平になるように調節、調節ラダー②で、お子さまの上半体が座部に対し、直角になるように背ベルトの長さを調節します。安全のために必ず手で支えながらご使用ください。調節ラダー②を締めすぎて、お子さまの胸を圧迫したり、また、ゆるすぎますと不安定になりますのでご注意ください。

ちょっと抱っこの場合

使用月齢 5か月頃(おすわりできる頃)から
4才頃(体重17kg)まで



① からだにつける
抱っこする側にポーチ部をあて、ウエストバックルが背中中央にくるようにウエストベルトを調節しとめます。

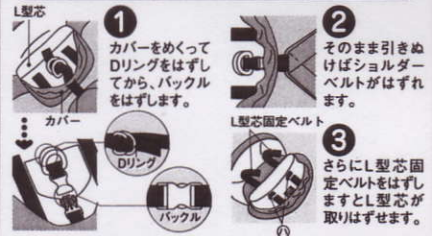


② お子さまを乗せる
お子さまと対面するように座部にさせて抱っこします。腰をひくした姿勢で行ってください。安全のために必ず両手で支えながらご使用ください。

ウエストポーチとして使用の場合

ショルダーベルト、L型芯を取りはずせばウエストポーチに、また、ショルダーベルトのみはずすと、小物入れになります。

ショルダーベルト、L型芯の取りはずし方



●取り付けるときは.....
取りはずし方の逆手順で、取り付けてください。
①L型芯を固定ベルトでしっかり止め、カバーのセンターにある穴にバックル、Dリングを通し、バックルはカチッと音がするまで差し込み、確実に止まっているのを確認します。
②Dリングをきつめにとめ、最後にカバーをL型芯にかぶせます。

装着時は必ず図のようにL型芯固定ベルトを左右の穴に必ず通してとめてください。

座部が水平になるとお子さまが安定し、また体重が肩と腰に分散します。

座部が水平になるとお子さまが安定し、また体重が肩と腰に分散します。

お手入れ方法

●この製品は、洗濯はできません。汚れた場合は、中性洗剤を薄めた水を布に湿らせ拭いてください。

安全にお使いいただくために。

警告

- 使用いただけるお子さまは、おすわりできる頃から4才頃(体重17kg)まで。また、しっかり抱っこ前向きは、1才半頃(体重13kg)まで。
- 首と腰のすわらないお子さまには使用しないでください。
- 装着時はお子さまを、必ず手で支えてください。また、ちょっと抱っこは、必ず両手で支えてください。
- バックルが、確実にとまっているか確認してください。
- 使用の際は、走ったり、跳んだり、極端な前かがみ等無理な姿勢はぜったいこしないでください。

注意

- 授乳後、約30分間位、また連続2時間以上の使用はしないでください。
- 使用の際は必ず使用者の体にあわせて各ベルトを調節してください。
- ベルト先端の返し縫部は、ほどいたり、切り落としたりして使用しないでください。
- お子さまの乗せおろしは、安全な場所で、腰をひくくした姿勢で行ってください。また、他の人に手伝っていただくより安全です。
- やぶれ、ほつれ、傷等または、バックルが破損した場合は使用しないでください。
- バックル着脱時に、お子さまの皮膚等をはさまないようにしてください。

バックル 使用上の注意



1

プラグをまっすぐソケットにカチッと音がするまでしっかり奥まで挿入してください。



2

さらに逆に引き戻し、しっかりと組み合わさり、外れないことを確認してください。

中途半端な組み合わせ状態が長時間続くと、プラグまたはソケットが変形し、破損または機能障害の原因となります。また、組み合わせがご確認できない場合は無理に挿入せず、プラグ・ソケットの表裏を点検し、異物等が入っていないか確認してください。